

経営比較分析表（令和3年度決算）

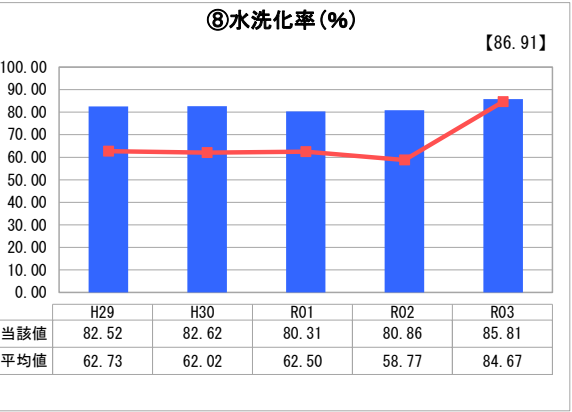
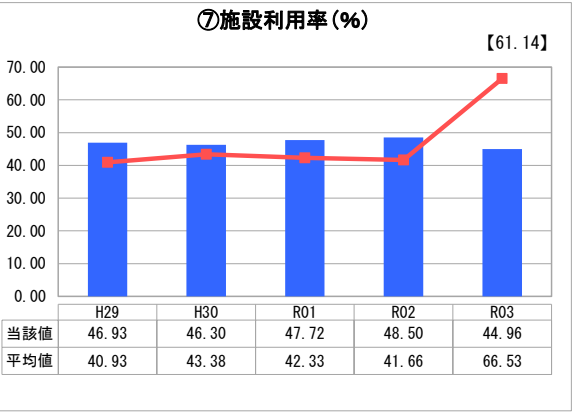
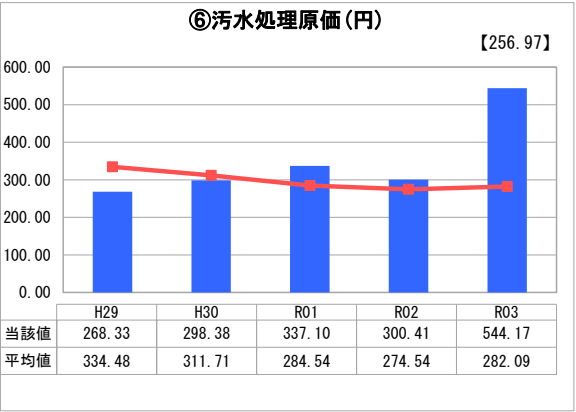
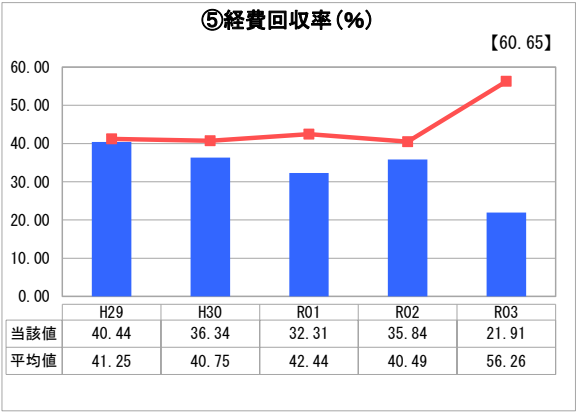
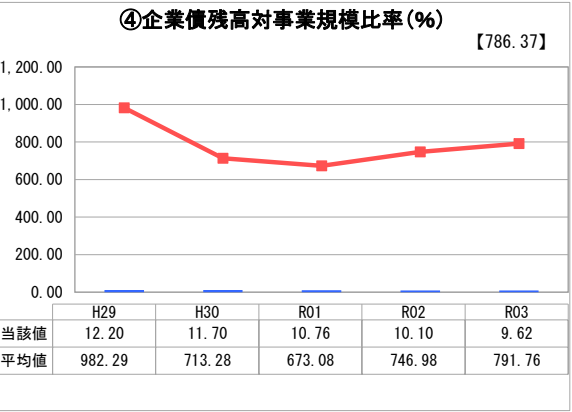
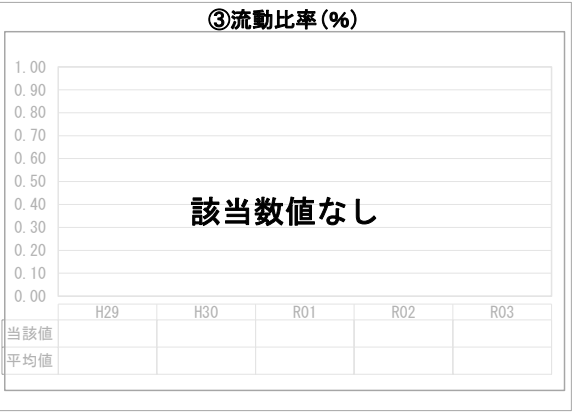
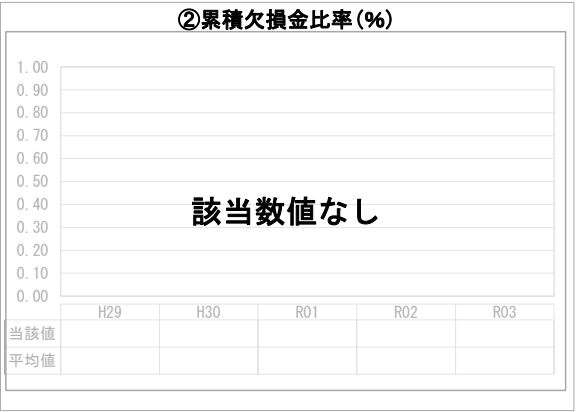
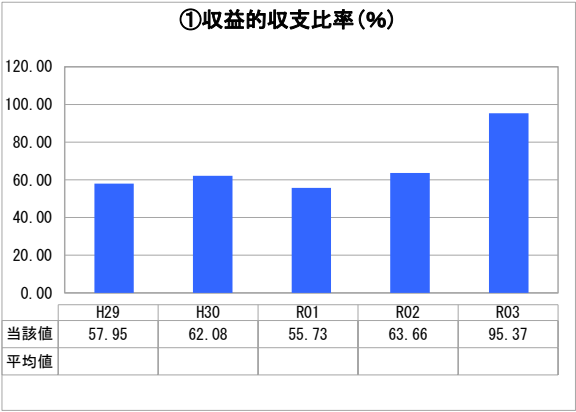
埼玉県 川越市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.67	100.00	2,879

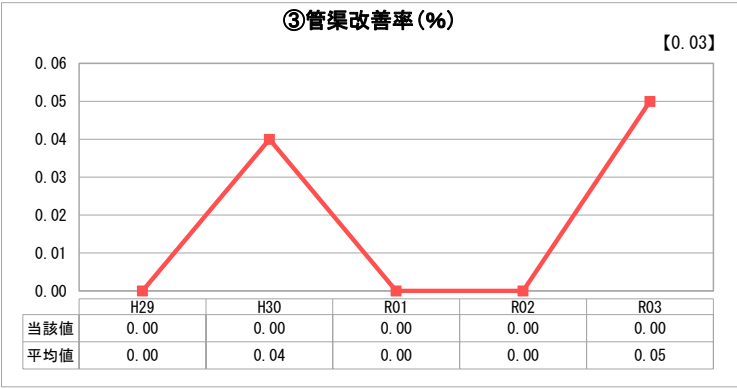
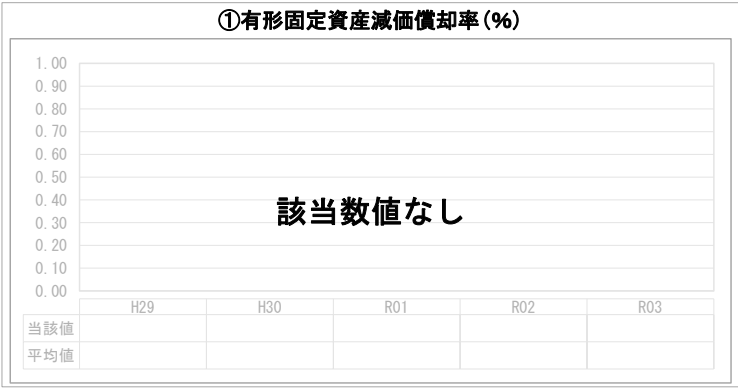
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
353,235	109.13	3,236.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,360	0.67	3,522.39

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
汚染水流入事故対応のため、例年より多く繰入をおこなったことにより、前年度より高い数値となった。今後も一般会計からの繰入金に依存するが、使用料収入の確保と維持管理費の適正化により、比率の向上を目指す。

④企業債残高対事業規模比率
類似団体と比較すると、低い数値で推移している。毎年度の確実な償還によって、減少している。

⑤経費回収率
汚染水流入事故による施設復旧に多額の費用を要したため、今年度は例外的に減少した。次年度からは通常の経営に復している。

⑥污水处理原価
汚染水流入事故による施設復旧に多額の費用を要したため、今年度は例外的に増加した。次年度からは通常の経営に復している。今後も適切な維持管理を行い、原価維持に努める。

⑦施設利用率
類似団体と比較すると、やや高い数値で推移している。今後も施設の適切な維持管理に努める。

⑧水洗化率
類似団体と比較すると、高い数値で上昇傾向を示す。今後も高い数値を維持するため、更なる接続促進に努める。

2. 老朽化の状況について

市内2箇所にある農業集落排水処理施設（鴨田地区、石田本郷地区）の供用開始は、平成18年及び同24年と近年であるため、老朽化には該当せず、管渠の更新は行っていない。

全体総括

今後も、健全な事業経営の継続のため、施設の適切な維持管理と使用料収入の確保に努める。また、将来の施設の老朽化を見据えて、改善計画を検討する。

使用料については、社会経済情勢を考慮しつつ、適切な時期に検討する必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。